

【令和元年度各団体の取り組み及び改善したこと】

1. 生活習慣病

	今年度の取組及び改善点	今後の課題	今後取り組んでみたいこと	実施可能な取り組み
日向保健所	<ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病発症・糖尿病性腎症重症化予防連絡委員会に社保(職域)の団体を追加し、糖尿病連携手帳・重症化予防連絡票の活用等を協議 ○糖尿病対策研修会(医療・行政関係者対象)の開催 ○がん患者・家族学習会及び交流会及び緩和ケア普及のための住民・医療従事者向け緩和ケア講演会の開催 ○がん予防対策の普及啓発(ピンクリボン運動の推進・女性の健康週間での検診受診普及) 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診受診率向上及び糖尿病未治療者への受診勧奨の取組強化 ○医療機関を中心とした糖尿病連携手帳・重症化予防連絡票の周知・活用ルールの確立 ○働き世代に向けた生活習慣病対策(健康経営の取組) 	<ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病連携手帳の活用推進について医療機関へ周知 ○糖尿病対策研修会にて、医療職を対象に連携手帳・連絡票の活用方法をワーキング方式にて周知 ○糖尿病発症・糖尿病性腎症重症化予防協議会(連絡会より名称改め) ○がん患者・家族学習会及び交流会の自主的活動支援 ○働き世代の女性向け健康づくり講演会の開催 	
日向市東臼杵郡医師会	<ul style="list-style-type: none"> ○市との契約に基づく特定健診・特定保健指導の実施の徹底、医療機関によっては病院保健師が保健指導を熱心に行う事で健診率の向上が図られた ○会員医療機関看護師等による市民向け健康講座の実施 ○生活習慣病有病者への早期受診の勧奨、自己管理の徹底 ○保健所、健康づくり課との連携による重症化予防対策の推進 ○健康まつりでの健康相談実施による受診率向上PR活動 ○小学4年生、中学1年生を対象とした小児生活習慣病健診の実施 ○健康相談に細かく応じることができた ○会員医療機関における市民向けの出前講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診の受診率アップ ○生活習慣病予防の環境整備 ○小児生活習慣病予防健診の未受診者の解消を図る ○市民が参加しやすい出前講座等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○養護教諭を中心とした学校職員との連携による小児習慣病の改善に向けた取り組みの強化 ○生活習慣病有病者への早期受診の勧奨、自己管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関における生活習慣病の指導 ○健康まつりでの生活習慣病に対する啓発事業の更なる強化
日向市東臼杵郡歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ○歯周病と糖尿病との関連について医科との連携が出てきた 	<ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病患者さんへの歯周病との関係の周知 		<ul style="list-style-type: none"> ○各医院での糖尿病患者さんへの歯周病治療の重要性説明と治療
日向市東臼杵郡薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> ○健康まつり:薬と健康の週間において血管年齢、おくすり相談を行った ○特定健診:ポスター貼付による啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○サプリメント摂取者が増えているのではないか。(薬との飲み合わせなど) 		<ul style="list-style-type: none"> ○啓発活動、情報提供を継続する
日向市区長公民館長連合会	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度も引き続き特定健診の受診率向上を各区に呼びかける 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報なので無理と思うが各区長に該当者の名簿を配布できないか検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○名簿配布(各区長)して区長から呼びかけしてもらい受診率向上を図ってみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各区の会の中で毎月特定健診を呼びかけてもらう。
日向市食生活改善推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○地区講習会開催時やイベント等において、健診を受けることの大切さを伝え、定期受診を呼びかけている。 ○生活習慣病予防のため、野菜の摂取量を増やしてバランスの良い食事を推奨するとともに、参加者の塩分チェックを行い、減塩を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市の特定健診及びがん検診の受診率は、以前として大変低い状況が続いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後もイベントや講習会の機会ごとに健診の大切さに伝えるとともに、受診を呼びかける。 	
日向市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の健康診断で35歳以上の職員に対して胃がん、肺がん、大腸がん検診を併せて実施した。 ○協会けんぽの保健師巡回相談を活用して、生活習慣病などの健康相談、保健指導を実施した。 ○職員健診のオプションについても案内、周知を図った。 ○年度途中に採用となった職員の受診調整を行い、可能な限り希望の医療機関で受診できるように努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員健診の結果、特定保健指導の対象となった職員の健康相談・保健指導の徹底 ○令和2年度から健診機関(日向病院)が減少することによる受診調整とフォロー 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定保健指導の対象となった職員の健康相談・保健指導の日程調整に努めたが、必ずしも徹底できなかったため、職員の受診・健康意識を高めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関との連携した職員の健康意識の拡大・啓発
日向市学校保健会 養護教諭部会	<ul style="list-style-type: none"> ○小児生活習慣病予防健診の実施 ○食事調査、栄養士による個別指導 ○栄養士会による食育出前講座・講話の活用 ○栄養教諭による授業 ○保健教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○小児生活習慣病予防健診の事後措置で栄養指導希望者が少ない。また、要医療の児童生徒が受診しない家庭もある 	<ul style="list-style-type: none"> ○がん教育の充実 	
日向市保育協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○園だより、給食だより等での情報発信はできていた。改善点としてはより読んでもらえる工夫と具体的に情報交換を行っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者への情報発信だけでは、根本的な改善につながりにくいのが現状である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○食育活動や日常保育の中でも園児に伝え教えていく工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○食事のおやつの適正な量や運動の大切さなどを視聴覚教材等を取り入れていく
公益社団法人 宮崎県栄養士会	<ul style="list-style-type: none"> ○重症化予防(糖尿病性腎症)の対応として受診を勧める ○特定健診の受診率を上げる 	<ul style="list-style-type: none"> ○受診率を上げる 	<ul style="list-style-type: none"> ○検査結果を正しく読み取り病気を理解して食生活習慣を改善できるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導を継続する
日向市高齢者クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ○長寿健診を積極的に受診 	<ul style="list-style-type: none"> ○クラブの組織の弱体化を如何ににたてなおすか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小グループでの積極的な参加はできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○プラットバス外輸送手段の周知徹底を図る
日向市いきいき健康課	<ul style="list-style-type: none"> ＜がん＞ ○協会けんぽの特定健診(集団健診)実施時に、肺がん・胃がん・大腸がん検診を同日に実施。 ○土日や夕方のがん検診を実施 ○がん征圧月間に市庁舎ロビーにて啓発を実施 ○対象年齢を絞り、大腸がん(41歳)・乳がん(41歳)・子宮がん検診(31歳)の無料クーポン券を発行 ○広報ひゅうが・FMひゅうが・班回覧にて啓発を実施 ○就学時健診や乳幼児健診等の若い世代に向けた啓発を実施 ○がん検診予約者で未受診者や前年度受診者(乳がん・子宮がん検診は前々年度)への電話による受診勧奨を実施間 ○協会けんぽの会場でがん検診を実施したことで、新規受診者につながった。 ○個別に受診勧奨することで集団検診の申し込み者が増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○クーポン券の利用率が低いため、若い世代へのアプローチ方法を検討する必要あり 	<ul style="list-style-type: none"> ○クーポン券対象者への個別受診勧奨の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な対象者に対する個別受診勧奨の実施 ○区未加入世帯(アパート等)への啓発チラシの配布
	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診受診者のうち、血糖値が高めの方へ糖負荷検査を実施 ○重症化予防連絡票を活用し、血糖値や腎機能の数値が受診勧奨判定値の方へ受診勧奨や受診後の確認を行う ○医療機関を受診し、食事療法や運動療法、薬物療法などの治療につながった人もいた。 ○糖負荷検査をすることによって生活習慣の改善などの意識づけになった。 ○集団健診の日程等市のホームページに掲載したり、メールによる検診申込みを継続。年々メールの申込み者は増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○重症化予防連絡票対象者で受診拒否の人への受診勧奨。 ○重症化予防連絡票に該当しない人へのアプローチ。 ○糖負荷検査受診者の継続的な特定健診受診を促す。 ○糖負荷検査受診者で次年度の健診で血糖値の数値(HbA1c)が上昇している人がいるため、保健指導の方法を見直す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○40歳への受診勧奨 ○継続受診につなげるような受診勧奨 ○二次精密検査受診者の継続的なフォローの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報、団体・集会等あらゆる機会を活用し受診勧奨を行う。

2. 食事・栄養・体重

	今年度の取組及び改善点	今後の課題	今後取り組んでみたいこと	実施可能な取り組み
日向保健所	<ul style="list-style-type: none"> 健康みやざき行動計画(第2次)中間見直しの普及・啓発として、小児期の身体活動向上、小児肥満・ロコモ予防を目的とした研修会の開催 宮崎県ベジ活応援店登録の推進 地域・職域連携推進会議の活動テーマ「食事からの健康づくり」の評価指標作成、ベジ活・へらしおの推進活動 <ul style="list-style-type: none"> 協力団体によるイベントでの普及活動 FMひゅうが等での広報活動 薬局と連携した普及 弁当惣菜店対象のへらしお研修会の開催 等 管内行政栄養士、栄養士と連携したベジ活・へらしおレシピの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 健康みやざき行動計画(第2次)の重点項目の更なる推進(目指せ適正体重、1日プラス1000歩、野菜をプラス100g、食塩をマイナス2g) へらしお研修会の開催時期の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度事業の更なる効果的・継続的な実施 日向保健所ホームページを活用した情報発信 	
日向市東臼杵郡医師会	<ul style="list-style-type: none"> 各医療機関で体重を計ったり、食事に対する啓発を行う事で食の重要性について関心を高めることができた。 会員医療機関の栄養士等による市民向け健康講座で食について講習を行う事ができた 	<ul style="list-style-type: none"> 健康講座の実施にあたり市民が参加しやすい雰囲気と会場等について検討したい 普及・啓発、情報提供活動の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 健康まつりにおける栄養士等との連携による市民啓発機会の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関における食事等の指導の更なる徹底を図る 健康まつりでの医師や関係機関との連携強化による啓発活動
日向市東臼杵郡薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> 薬草の委員会において、薬膳料理会を実施 薬草についての情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤師会独自の活動を検討している 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き薬草観察会、薬膳料理会を実施 	
日向市食生活改善推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 推進員自身が定例会等をおとして学びを深めつつ、その学びをいかした講習会の開催を心がけている。 日向入郷地域・職域連携会議が主催する2回のイベントにおいて、「野菜の摂取量増加」「今より減塩2g」の啓発を行った。 「食生活改善推進月間」において、担当課とともに啓発の展示を行ったほか、「健康まつり」においてもブースを担当し、啓発に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事などの生活習慣は簡単に変えられるものではなく、継続的にやっていく必要があり、効果を評価することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の団体と協力し、減塩や野菜の摂取量増加に繋がられるよう、さらに取り組んでいきたい。 	
日向市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センターの「ストレッチ体操教室」などの健康講座で講師が食生活や健康管理について指導した。 地域住民や企業に依頼して、食糧品等の寄付を受けて、生活困窮世帯に無償で提供し食生活を支援する「食糧支援事業(フードバンク)」の適正実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センター自主講座の指導者育成と老朽化した施設の整備 民間のこども食堂やフードバンク事業との連携による効果的な食糧支援事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センター自主講座の充実・拡大 関係機関や団体との連携と情報の共有 フードバンク事業を活用した相談支援体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センター自主講座の充実、高齢者クラブやセンター利用者等への啓発
日向商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> さんまる・いちまる運動 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ等の影響 	<ul style="list-style-type: none"> ヘルシーな郷土料理の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供
日向市学校保健会養護教諭部会	<ul style="list-style-type: none"> 身長・体重の測定と結果通知 成長曲線の活用 弁当の日の取組み 給食残食なくす取組 保健教育の実施 肥満の個別指導 栄養教諭による事業 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭との連携 		
日向市保育協議会	<ul style="list-style-type: none"> 食育活動の中での野菜等を育て観察し食べるという取り組みはできており、今後も同様に行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 育て、食べるという活動以外の取り組みが少ないこと 	<ul style="list-style-type: none"> 園児でも行いやすい、新しい活動の模索 	<ul style="list-style-type: none"> 年長組等で調理体験や年中・年少児の調理見学等
公益社団法人 宮崎県栄養士会	<ul style="list-style-type: none"> 適正体重の維持 高齢者若者の低栄養予防 ベジ活(野菜100g摂取)を勧める 	<ul style="list-style-type: none"> 若い女性のダイエットを正しく理解して実施することを勧めたい 野菜100g以上使った店を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ベジ活は調査員として店に行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの店の希望者を増やす
日向市高齢者クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> 映像による周知方法 	<ul style="list-style-type: none"> 誰がどこがセッティングするか 	<ul style="list-style-type: none"> 各行事後に短時間実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 行政・社協との取組連携
日向市いきいき健康課	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進月間に、市役所ロビーにて野菜プラス100g・減塩について啓発を実施 特定健診、長寿健診受診者に対し栄養相談を実施 健康教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病発症・重症化予防を推進するためには、食生活の改善が重要であることから、今後も啓発ならびに対象者に合わせた支援を行っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 健診後の対象者に合わせた食事支援を行っていくと同時に生活習慣予防のための啓発及び低栄養を予防して自立した生活を送れるような支援に取り組んでいきたい 	<ul style="list-style-type: none"> 広報やHPなどを利用した啓発及び地域健康教育・相談 受診者への食事指導

3. 運動

	今年度の取組及び改善点	今後の課題	今後取り組んでみたいこと	実施可能な取り組み
日向保健所	○健康経営の推進 ○小児期の身体活動向上、小児肥満・ロコモ予防を目的とした研修会の開催	○ライフステージを通じた運動習慣向上	○健康経営の推進による働き世代の運動習慣向上に向けた取組 ○小児期の身体活動向上に関する研修会の継続実施	
日向市東臼杵郡医師会	○健康スポーツ医学の専門知識を深めるための講習会（TV会議の実施） ○病医院受診者に対する運動習慣のある人とならない人の発病の状況説明 ○病医院受診者に対する運動をする際の注意点の説明 ○「いきいき100歳体操」などの高齢者の運動の重要性を各医療機関で推奨した。 ○医療機関における職員へのスポーツ奨励が推進された。	○市民が運動を始めたい、継続できる環境づくりの推進 ○市民の運動習慣が定着しない理由、運動しない理由の整理 ○運動関連団体、指導者との連携 ○医療機関職員が率先して運動と接することができる職場環境の充実	○健診時等における啓発活動 ○市民の運動習慣が定着しない理由、運動しない理由の整理 ○運動関連団体、指導者との連携 ○医療機関職員で組織するスポーツクラブへの活動支援	○医療機関スポーツクラブを通じた市民への啓発活動の実践 ○健康まつりでの医師や関係職員との連携強化による啓発活動
日向市東臼杵郡薬剤師会	○薬草観察会（徒歩によるものなので）	○定期的に開催できるか	○薬草観察会の継続	
日向市区長公民館長連合会	○各区でいきいき100歳体操やグランドゴルフ(体育行事)を実施してもらう。	○未加入世帯にどのように伝えるか。		○高齢者クラブとの連携
日向市食生活改善推進協議会	○健康維持を目指し、「2級ラジオ体操指導士」を招いてラジオ体操講習会を開催した。健康維持、体力保持につなげるため、正しいラジオ体操の手技を学び、効果的なラジオ体操を実践できるようにした。	○特に若い世代で運動に取り組んでいない人が多い傾向がみられるため、この世代の人たちへの啓発が課題ではないか。	○スポーツ教室等のイベント時に、食の大切さについて伝えるようなチラシ、ミニ講話などはできないか。	○時間等の制約があるため、ミニ講話などは難しいかもしれないが、チラシ等の配布であれば、十分実施可能だと思う。
日向市社会福祉協議会	○各地区の自治公民館等で「いきいきサロン」(53地区)や「いきいき百歳体操」(82カ所)を実施し、地域住民の介護予防、生きがい、健康づくりの推進に取り組んでいる。 ○百歳体操については市内で平成29年度50カ所⇒平成30年度72カ所⇒令和元年度82カ所まで年々拡大し、週1回、住民主体の介護予防、憩いの場、自主活動として定着してきている。 ○平成30年度に初めて開催した「百歳体操推進大会」や「百歳体操健康づくり川柳」の募集を令和元年度も引き続き計画し、市民の啓発と更なる普及の推進を図っている。 ○いきいきサロンについては、平成30年度58地区⇒令和元年度53地区と減少した。 ○老人福祉センター健康運動教室の開催(4講座)	○少子高齢化が進んでいる自治会では、担い手不足から「百歳体操」や「いきいきサロン」の運営が困難なところもあり、担い手の確保が課題となっている。 ○地域によっては、地域活動に参加したくても、会場へ移動する手段がなくて参加できない高齢者もあり、移動手段の確保が課題となっている。 ○「いきいきサロン」や「百歳体操」のボランティアの育成、地域と連携した組織づくりも課題。 ○老人福祉センター健康運動教室の充実・拡大	○民生委員児童委員や各自治会、自治会の「地域福祉部」とも連携して、いきいきサロンや百歳体操の更なる普及を図ってきたい。特に、百歳体操については、百歳体操プラス1の取組みを進めてさらなる充実を図りたい。 ○既に実施している「生活支援サポーター養成講座」をさらに拡大して、包括支援センター圏域ごとに、高齢者の「生活支援サポーター」や、市社協で、地域生活課題に対しても幅広く対応できる仕組みを作ってきたい。 ○老人福祉センター健康運動教室の充実・拡大	○各自治会組織との連携、各種サポーターを活かした仕組みづくり ○地域での百歳体操プラス1(ワン)による百歳体操と合わせた地域でのふれあい交流、支え合い助け合い活動の推進 ○老人福祉センター健康運動教室(ベタンク・ラダー・ゲッター・ストレッチ体操・輪投げ・ヨガ等)の実施
日向商工会議所	○メディキットひよっこ駅伝の開催	○参加者の増加	○家族での出場ができる仕組みづくり	○企業への呼びかけ
日向市学校保健会 養護教諭部会	○各学校とも体力向上プランの作成と実施 ○体育の授業や部活動での体力向上 ○外遊びの推進	○運動経験の二分化(部活動やスポーツ少年団に入っている児童生徒とそうでない児童・生徒)	○1日に少しでも運動できるような声かけ(昼休み等を利用して)	
日向市保育協議会	○全身を使った遊びは、保育中に行われていますが家庭環境の違いで質や量の格差がある	○運動が楽しめる体力がない園児が増えつつあること ○体力低下の低年齢化	○メディアコントロールの中に運動スポーツ等の取り組み案を盛り込んでいく	○時短で少スペースでも行える親子遊びの提案等
公益社団法人 宮崎県栄養士会	○1日10分、+1,000歩の実施の実施をすすめる。			
日向市高齢者クラブ連合会	○ラジオ体操の普及実施	○リーダーの育成	○会合行事の始めと、終わりに必ず実施する習慣	○各々のリーダーが良く理解しその効果を説明できる
日向市スポーツ推進員協議会	○一年間を通じて、幼児から高齢者、障がいのある方たちまで多数のスポーツ教室を開催した。 ○「体育の日」に昨年度に引き続き、託児所を設けてミニバレーボール大会を企画実施した。	○参加者の固定化、減少化から広報の工夫等、もっと対策が必要と考える。	○参加者の減少が目立ったバリアフリースポーツ教室の実施日程を現行の日曜日から平日の金曜日に変えて実施してみる。	○会員が共通の指導方法、計画的な指導内容を部内研修で計画したい。
日向市いきいき健康課	○ラジオ体操講習会の実施 7会場 282名参加 ○ラジオ体操補助金の活用 2企業 ○「世界骨粗しょう症デー」に合わせ、食事と運動等の関連記事を掲載。 ○2級ラジオ体操指導士資格者が1名増加	○体操指導士、ラジオ体操指導員を活用した講習会を開催し、効果的にラジオ体操を実践できる人を増やす ○ラジオ体操の効果について理解を深めるよう継続した啓発を行う ○講習会参加者が日賞的にラジオ体操を実施しているか把握できていない	○個人でラジオ体操を実施してもらうよう啓発を行う	○HPや班回覧でラジオ体操のPR

4. 飲酒

	今年度の取組及び改善点	今後の課題	今後取り組んでみたいこと	実施可能な取り組み
日向保健所	<ul style="list-style-type: none"> ○アルコール関連問題啓発週間に合わせて、所内ロビーに啓発媒体を掲示 ○個別相談 	<ul style="list-style-type: none"> ○働き世代に向けた適正飲酒普及(健康経営の取組) ○普及啓発活動、個別相談対応の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所健診等利用者向けのちらし等啓発媒体の設置・配布 ○関係機関と情報共有しながらの個別相談対応 	
日向市東臼杵郡医師会	<ul style="list-style-type: none"> ○アルコールによる健康被害の発生予防に努めた。 ○個別相談の実施を行った ○病・医院受診者に対するアルコール障がい者の早期発見、早期介入に努めた。 ○病・医院受診者に対するアルコール依存症当事者・家族からの相談の充実を図った ○病・医院受診者に対する休肝日の指導、飲酒に関するリスク説明を行った。 ○アルコール依存に対する取り組みを各精神科施設を中心に行った 	<ul style="list-style-type: none"> ○アルコール依存症患者の治療体制の整備を図る ○適正飲酒量の啓発・広報に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ○アルコール依存症患者の治療体制の整備を図る ○市や保健所等の関係機関との連携を図り適正飲酒量の啓発・広報に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ○アルコール依存症患者の治療体制の整備を図る ○関係機関との連携強化による適正飲酒量の啓発・広報の徹底
日向市食生活改善推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会時に、アルコールが体に与える影響について学習を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> ○今後も講習会等をおして知識を深め、啓発を行っていく。 	
日向市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○年末年始等に飲酒運転や適性な飲酒について、朝礼等で指導を行い注意喚起している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ○特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ○特になし
日向市東臼杵郡薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> ○(個別の対応として)お酒とくすりの飲み合せを説明 	<ul style="list-style-type: none"> ○アルコール常用者については意識を高めていけるか？ 		
日向市学校保健会 養護教諭部会	<ul style="list-style-type: none"> ○保健教育の実施 ○薬物乱用防止教室の実施 ○がん予防教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業を充実させるために関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校薬剤師、警察署等への講師依頼
日向市高齢者クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ○前年度と同じ 		<ul style="list-style-type: none"> ○一人暮らしの実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> ○百薬の長の理解
日向市いきいき健康課	<ul style="list-style-type: none"> ○健康増進月間に、市役所ロビーに飲酒に関するパネルを展示。 ○市広報にアルコールとからだに関する記事を掲載。 ○個別相談。 	<ul style="list-style-type: none"> ○普及啓発活動の継続。 		

5. 喫煙

	今年度の取組及び改善点	今後の課題	今後取り組んでみたいこと	実施可能な取り組み
日向保健所	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進法改正に伴う受動喫煙防止対策の周知・啓発、相談対応 宮崎県禁煙施設認定制度の啓発・認定 FMひゅうがでの「世界禁煙デー」及び禁煙・受動喫煙防止啓発、所内ロビーに啓発媒体を展示 	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店等での更なる啓発 喫煙可能室設置施設の届出受付(4月～) 宮崎県禁煙認定制度の認知向上 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度事業の継続実施 健康増進法に基づく指導・助言 日向保健所ホームページを活用した情報発信 	
日向市東臼杵郡医師会	<ul style="list-style-type: none"> 病・医院受診者に対する受動喫煙の影響について説明を行った 病・医院受診者に対する喫煙の弊害の説明を行った 病・医院受診者に対する喫煙習慣と病気の原因説明を行った。 禁煙外来の受診勧奨に努めた 医療機関の敷地内禁煙の促進を図った 各医療機関において、禁煙外来の設置およびそれぞれ医師による喫煙リスクの説明の機会を増やした。 	<ul style="list-style-type: none"> 受動喫煙対策の推進 喫煙の健康被害の啓発・広報の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 受動喫煙対策の推進 市や保健所等の関係機関との連携を図り喫煙の健康被害の啓発・広報に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 受動喫煙対策の推進 関係機関との連携を図り喫煙の健康被害の啓発・広報の徹底
日向市東臼杵郡歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> 歯周病、口臭の原因となる事への周知説明 			<ul style="list-style-type: none"> 喫煙者の口腔内の状態をカメラ説明
日向市東臼杵郡薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙サポート薬剤師の活動として、禁煙に対する啓発活動を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ハイチェッカー(肺年齢)、スモークアサライサー(co測定) 	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙外来への受診 	<ul style="list-style-type: none"> 小冊子やサンプル配布
日向市食生活改善推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の代表者が参加する日向入郷地域・職域連携会議において、健康増進法の改定による受動喫煙対策について説明があり、役員会等で情報の共有を図った。 			
日向市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 日向市総合福祉センターの管内は禁煙とし、別棟の車庫に喫煙所を設置している。 喫煙する職員の退職により、令和元年7月から事務局職員は、喫煙者ゼロとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉センター利用者等に対する管内全館禁煙の徹底、屋外の喫煙所の周知徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 受動喫煙、喫煙の健康被害に対する職員の健康意識の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 受動喫煙、喫煙の健康被害に対する更なる啓発
日向商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> 受動喫煙対策 	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進法の改正 	<ul style="list-style-type: none"> 県健康増進課等との連携による飲食店への理解 	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供
日向市区長公民館長連合会	<ul style="list-style-type: none"> 各公民館や公園での喫煙について各公民館長をお願いしていく。 			
日向市学校保健会 養護教諭部会	<ul style="list-style-type: none"> 保健教育の実施 薬物乱用防止教室の実施 がん予防教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 授業を充実させるために関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 学校薬剤師、警察署等への講師依頼
日向市保育協議会	<ul style="list-style-type: none"> 園内の禁煙は徹底されていますが家庭での分煙ができていないのか疑問である。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での受動喫煙の現状 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での分煙の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時の車中での喫煙を呼びかける等の実行しやすい提案を行っていく
日向市高齢者クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> 実態調査 			
いきいき健康課	<ul style="list-style-type: none"> 「禁煙週間」時に市庁舎ロビーにおいて啓発の展示を行ったほか、市HPにおいても啓発記事を掲載 健康増進月間(9月)においても喫煙による健康への影響等について啓発のための展示を実施 商工会を通じて、会員の方に健康増進法の一部改正に伴う分煙等について周知を行った 	<ul style="list-style-type: none"> 改正健康増進法の全面施行されたが、市民への周知不足から、あまり浸透してない。 喫煙率の減少に取り組んでいるが、悪化している 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年4月1日より全面施行されたことを受け、喫煙による健康被害について正しく理解してもらうための啓発を行っていききたい 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な機会を捉えて周知に取り組んでいく

6. 休養・こころの健康

	今年度の取組及び改善点	今後の課題	今後取り組んでみたいこと	実施可能な取り組み
日向保健所	<ul style="list-style-type: none"> ○ひきこもり・こころの健康相談の実施 ○「日向・入郷地域自殺対策協議会」の開催 ○自殺予防街頭啓発活動 ○うつ病医療連携強化事業の研修会開催、啓発ポスター作成・配布 ○自殺対策研修会の開催 ○FMひゅうがを活用した自殺予防の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○普及啓発・情報共有・関係機関との連携の推進等の活動継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○自殺未遂者支援の取組 ○住民生活に身近な場を活用した啓発 ○うつ病医療連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○自殺未遂者支援の研修会の実施 ○市と連携した個別支援 ○市の健康まつりにおける啓発活動 ○日向市駅での月間の啓発活動 ○住民への啓発目的のポスター掲示 ○FMひゅうがを活用した啓発
日向市東臼杵郡医師会	<ul style="list-style-type: none"> ○うつ病医療におけるかかりつけ医と精神科医の連携の推進(平成27年度からの継続事業) ○かかりつけ医から専門医への紹介・専門医からのかかりつけ医の紹介 ○事項についての回答 ○うつ病患者の早期発見の充実 ○かかりつけ医がうつ病治療のゲートキーパー的役割を担ってきている ○会員医療機関における市民向け出前講座の実施 ○かかりつけ医への受診勧奨ポスター作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○更なる連携の推進 ○事業推進のための周知ポスター作成 ○健康まつりや各医療機関における市民向け出前講座の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関との連携による市民向け出前講座の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康まつりでの相談事業及び市民向け出前講座の啓発活動
日向市東臼杵郡薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> ○広報ひゅうがに薬草の記事を資料提供(H28年9月～) 	<ul style="list-style-type: none"> ○薬草の本の作成(ガイドブック) 	<ul style="list-style-type: none"> ○薬膳料理の実施、薬草文化の推進と伝承 	<ul style="list-style-type: none"> ○ガイドブック作成に向けての構築
日向市区長公民館長連合会	<ul style="list-style-type: none"> ○自殺対策研修会の実施 			
日向市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○引きこもりなどの方を対象とした自立訓練の場として「居場所サロン事業」や生活困窮者世帯等への児童・生徒に対する「学習・生活支援事業」を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民や支援員を中心とした地域の拠点づくり、いつでも立ち寄れる居場所づくりの整備 ○相談支援員の養成と確保 ○大学等の教育機関との連携 ○居場所サロンや学習・生活支援事業の対象者の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ○九州保健福祉大学との連携による学習支援に協力してくれる学生等の確保 ○民間の関係機関との連携・協働の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度から学習・生活支援事業の対象者に「不登校児」を新たに加え対象者の範囲を拡大する
日向商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ○働き方改革 	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナ等 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て世帯等への影響に伴う助成金等の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報提供
日向市学校保健会 養護教諭部会	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケート、教育相談の定期的な実施 ○毎月いじめ不登校対策委員会を開催し、職員間の共通理解 ○SCやSSWの活用 ○担任や養護教諭による相談 ○自殺予防につながるような命の教育 ○性教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○SCやSSWが全学校配置ではない。また、活用にも時間が限られている。 ○貧困等の家庭の環境 ○メディアとの付き合い方(睡眠の確保、生活習慣) 	<ul style="list-style-type: none"> ○メディアに関する指導(その前にまず職員研修から) 	<ul style="list-style-type: none"> ○メディアに関する指導(その他にまず職員研修から)
日向市保育協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との日々のコミュニケーションの工夫ができていますがより深い悩み等を聞くには時間が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者のこころの健康は、園児のこころの健康に直結しているのでそのコミュニケーションの時間の確保や職員のスキルの向上が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝夕の送迎時以外の相談の場や時間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○年に1回程度の個別相談の実施
日向市高齢者クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ○ピンピンコロリンの理解力向上 			<ul style="list-style-type: none"> ○講演会の推進
日向市いきいき健康課	<ul style="list-style-type: none"> ○個別相談(窓口・電話) ○対面型相談窓口の設置(ひだまりカフェ:毎週木曜日開催) ○自殺予防パネル展示(9月・3月):市役所玄関ホールにて ○FMひゅうがを活用した自殺予防の啓発 ○こころの電話帳を区加入の全世帯へ配布 ○ゲートキーパー養成講座の実施(市職員向け2回、関係機関・団体向け1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○相談窓口の啓発 ○相談機関・支援体制の充実 ○ゲートキーパー養成講座の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○自殺対策計画の推進 ○市の自殺の特徴にそった啓発 	

7. 歯・口腔の健康

	今年度の取組及び改善点	今後の課題	今後取り組んでみたいこと	実施可能な取り組み
日向保健所	<ul style="list-style-type: none"> ○日向保健所地域歯科保健推進協議会の開催 更なる学齢期の歯科保健の向上(フッ化物洗口導入の推進)に向け、今年度から学校保健会事務局主管課長(教育委員会)を追加 ○歯科保健推進研修会の開催 県及び歯科医師会と共催で学齢期の歯科保健に着目し、フッ化物洗口に関する内容で開催 ○フッ化物洗口支援:実施に関する相談に対応。未実施市町村(日向市・門川町)との協議を行った。 ○管内保育園、幼稚園、小中学校、高校の歯科健診統計「日向保健所管内の歯科健診の現状」の作成 ○各市町村の歯科保健協議会への支援(委員参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ○宮崎県歯科保健推進計画に基づき、関係機関・団体と連携したライフステージ毎の目標達成に向けた取組 ○管内小中学校フッ化物応用によるむし歯予防の格差の縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児、学齢期の歯科保健に関する取組の継続 ○成人期、高齢期の歯科保健に関する歯科保健の推進(歯周病、オーラルフレイル、妊娠期からの歯科保健 等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度事業の更なる効果的・継続的な実施 ○小中学校におけるフッ化物洗口の実施の有無に関わらず、各市町村の課題を確認し、継続又は開始できるよう歯科医師会協力の下、市町村を支援していく。 ○糖尿病対策と連動した歯周病対策
日向市東臼杵郡歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ○学童期の虫歯有病率の低下 ○校医・園医を含む歯科医師の講演会参加による健診基準の統一化 ○成人・高齢者の歯科検診受診者の増加を計る 	<ul style="list-style-type: none"> ○歯周疾患検診、後期高齢者歯科検診受診者を増やす 		<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学生への各医院でのフッ素塗布
日向市区長公民館長連合会	<ul style="list-style-type: none"> ○歯科検診の呼びかけ 			<ul style="list-style-type: none"> ○区報などに掲載してもらい啓発活動を行う。
日向市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ○特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ○特になし 	
公益社団法人 宮崎県栄養士会	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児健診、高齢者の(歯周疾患検診)にて口腔ケアを普及する 	<ul style="list-style-type: none"> ○虫歯予防 ○歯周疾患の予防 		
日向市学校保健会 養護教諭部会	<ul style="list-style-type: none"> ○歯科健診後の治療勧奨を年に数回し、各校とも治療率向上を目指している ○学校歯科医の協力のもと、衛生士によるブラッシング指導。全国歯磨き大会への参加 ○給食後の歯磨きの実施 ○学校担任や部活動顧問からの指導や声掛け ○ブラッシングの個別指導 ○未治療者への面談 ○常に養護教諭からの発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間を通して虫歯治療100%を目指し取り組んでいるが、治療に行かない家庭が固定化していることへの対策 		
日向市高齢者クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ○8020運動の推進 			<ul style="list-style-type: none"> ○保健師の協力
日向市保育協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○フッ素洗口は多くの園で実施されている園内での歯の健康に対する情報発信も行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歯科検診後の治療へのつなぎ方 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者が治療に行きやすい工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内の歯科医院の情報提供(園内掲示等)
日向市いきいき健康課	<ul style="list-style-type: none"> ○歯科保健協議会 年1回開催。 ○歯周疾患等検診(通年実施) 30~70歳5歳刻み。 ○FMひゅうが、広報ひゅうがにて啓発。 ○高齢者肺炎球菌個別通知(封書)にチラシ同封(65歳、70歳)。 ○健康教育の実施。 ○受診者数 令和元年度 58名平成30年度 52名(平成29年度 42名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病重症化予防事業との連携を検討する。 		